

NANIWA 6号

支部交渉で

「組合ときちんと協議していく」(会社発言)

私たちは主張することで一步步前へ進んでいます。

＼(^o^)/

契約係社員が一丸となって結集すれば大きく局面が変わります。(牛久保弁護士)

くわしくはどぶいたニュース68号熟読のこと

組合員は「どぶいたニュース68号」での交渉について多くの仲間に教えてあげてください。

・社内ルールで横暴極めた強気な出方も、本気で法的解釈を求められればたじろじではないか。「顧客第一主義」をいうなら会社は社員も大事にするのは当たり前なことだ。すべての人に優しい企業づくりを私たちの手で推進していかねばならない思いでいっぱいです。

(; ;) ひとつづつ暴かれる脱法行為と違法性。

「協議をし尽くす」という言葉とは裏腹に早く切れるものからきっていき。個人面談についても「拒否してもかまわない」とも発言。「該当者の理解を得たうえで実施」ということはやはり通知事項としての希望退職者を募っているということだと認識する。あくまでも制度廃止を転進制度と言い募っていますが実質、希望退職制度として運用されていると解釈できます。「スケジュール通り進めたい」ということから、やはりこの流れは合併時から決まっていたタイムスケジュールでありシナリオどおりであったということと、過去を振り返れば、全損保を全員脱退していればこのことすら無抵抗に主張すらできていなかったといえます。以上を踏まえて、個人面談を受けられた方々へ「どぶいたニュース68号」をぜひ読んでいただくよう。自分たちが受けた内容と会社発言の矛盾を知ってもらってください。

私たちの組合では協議していくことが決まっても、他労組には波及しません。今のまま合意すればそれで終わりです。この制度で契約係として働きたいから、今がんばっています。一緒に主張していきましょう。

GO FOR BLOCK !

ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために

全損保日勤外勤支部大阪分会